

新春随想

正倉院展
をみても

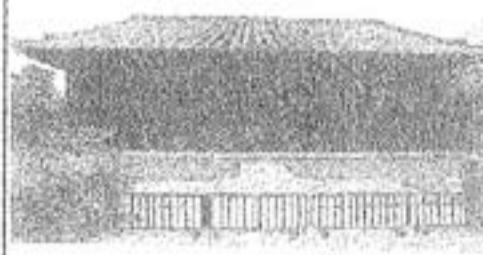
千石西町・村田

昨秋、奈良国立博物館で開催された第五九回正倉院展を観て来ました。毎年出かけてみて思うことは千三百年を経ようとする今日まで、当時を知ることの出来る文献や現物等が保存されている、その科学技術の水準の高さに驚いています。今日、格差社会に生きる私たちは将来に安心感が持てません。生きていくうえで最後のセーフティネットである生活保護の基準を政府は切り下げようとしています。

今回の正倉院展で印象に残った一つに、聖武天皇の時代に現在の生活保護制度なるものがあつたことです。賑給(しんごう)と言ひ一般の人々に臨時的に食料を支給する制度。西暦七三九年、支給対象者名簿に、
高年(八〇歳以上)

寡(夫のいない五〇歳以上)
独(六〇歳以上で子どものない人)
憚(一六歳以下で父母のな
い人)
不能自存者(一人では生活
できない人)
に支給されていた、とあります。この資料の前で「おにぎりがたべたい」と日記に書き残した男性のことが頭をよぎりました。

※正倉院展とは聖武天皇が愛用していた身のまわりの品を没後光明皇后が東大寺大仏殿に奉納した、その数々の品が一部づつ毎年公開展示されています。



正倉院

文芸*俳句

年毎に恵美須の父と屠蘇祝う
眠る児の手に握りたるお年玉
湯豆腐や自通の老いの差し向い

昭三郎

東光に良き世と照らせ願ひこ
枿木が白い花つけ師走かな

料先へ走る面々初時雨

みのろ

法堂の暈一暈秋陽かな

ゆりかもの茶店賑わう宇治の秋

初子



07カラオケ望年会盛会

12/9

恒例のカラオケ望年会

会場いっぱい20余名ののど自慢が勢揃い♪♪

▼あいさつする亀井議員 ▼ “楽しくやりましょう”と新井会長



新年おめでとうございます
「茶房」大五郎 今年もよろしくお願ひします。

新年一月の「茶房」大五郎ご案内

一月の開催日は1/5(土) 1/19(土)です。
いずれもお昼1時から
場所：後援会事務所：参加費 100円

1月5日は
新年ぜんざい会

能勢もちを使ったぜんざいで、
新年を祝ひましょう。
準備の都合上、参加
ご希望の方はお電話
ください。



TEL885-2832